

その他の教育研究業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13~14	同校の校長より、バスケットボールを通して、児童の休み時間を利用して、児童とのコミュニケーションを深めるよう指示があり、同校体育館でバスケットボールをして、ダンクシュートを行った際、着地でバランスを崩してしまい、受傷した。	38	100~299
1	11~12	校庭で3時間目の6年1組の体育を指導していた際、人数が足りていなかったため、指導の一環としてバスケットボールの試合に参加した。試合中に、シュートブロックのためジャンプしたところ、着地に失敗し、左膝に負荷がかかり負傷した。	48	—
2	13~14	スイミング社員大会での余興ゲームの雑談を社員同士でしていた。事務室で縄跳びのゲームを試した時、普通に飛んでいたが、3回位飛んだ時、左足のアキレス腱が切れた。	37	10~29
2	17~18	試験用備品保管室で、翌週実施予定の試験の備品準備中に、データ計測用PC4台の入った重量約15kgのバケツを、持ち上げた際に腰に痛みを感じた。	31	1000~9999
2	18~19	野球グラウンドでサッカースクール中に、練習メニューの1つである試合を行っていたところ、子どもが蹴ったサッカーボールが私の足元に転がってきて、それを取りに来た全力で走ってきている子どもをよけようとしたところ右足首を強くひねる。病院に行ったところ骨折と診断を受ける。	25	1~9
2	11~12	体育館で、体育指導をしている時、主で行っている先生のところに子どもが行ってしまいその子を抱きかかえて走り出した。腰をひねった状態で走り出したため、筋筋膜性腰椎症が発症し、その後の検査で腰椎椎間板ヘルニアを診断され	23	10~29

		た。		
2	22~23	業務中、講師が生徒のレッスン（8人）終了後、男性ダンサーと発表会の練習中に、ジャンプの着地に失敗して、靭帯を損傷した。当日はタクシーにて、帰宅して翌日に整形外科を受診し、全治2週間（10日間安静）と診断された。	21	—
2	11~12	遊戯室入口にある12cmの段差を何も持たずいつも通り降りた時に痛めた。	33	—
3	15~16	保育園の1階ホールで食器を片付けようとしたとき、膝を捻ってケガをした。食器を持って振り返るときに捻り、そのまま倒れて立てなくなってしまった。	22	10~ 29
3	10~11	保育中（校庭遊び時）、子どもの蹴ったボールを取りに行った時に犬走りと側溝の境に足をとられ、右足をひねってしまった。	54	—
3	16~17	作業現場での作業が終了し、調査部にブルーシートをかけて、シートを固定させるための土嚢袋を置く作業をしていた。その際、土嚢袋のヒモが指に絡んでいることに気がつかず、手元から落とすように置いたため、その重さに指が耐え切れず、右手薬指を骨折した。	39	10~ 29
3	15~16	小学校内の校庭において児童の見守り業務中、遊技をしている時に球を蹴ろうとして転倒し、左足関節を骨折をした。	58	1~9
4	9~10	幼稚園の砂場で園児と外遊びをしている際に、砂場の囲いから砂場に降りる時に砂場のくぼみに足をついて挫き、左足にヒビが入った。	22	1~9
4	11~12	走ってきた園児を抱き上げようとした際に、園児の動きに対応できず右手中指を脱臼した。	57	1~9
5	13~14	出張先の宿泊施設にて2日間のテニス合宿を行っていた際、1日目の午後の練習の為、宿泊施設併設のテニスコートに向かう上り坂（平均斜度11度）を多くの荷物を持って、大急ぎで移動していた時に急に左足大腿部後面に痛みを感じた。	35	10~ 29
5	15~16	本学付属中学校の生徒との試合中に転倒しそうになった際、身体を右足で支えようと踏ん張ってしまい、右膝に全体重の負担がかかり負傷した。	23	500 ~ 999
	12~	1階ランチルームで見守り介助を行っていた当該被災労働者に、4年生児童が後ろからおぶさった。4年生児童の重みで後ろに倒れた被災労働者の腰に、いっしょ		30~

6	13	に倒れた4年生児童の膝が入り、腰を強打した。また、おぶさった児童の重みで体が反り、背中も痛めた。	33	49
6	17~ 18	本学園の体育館において、期末考査期間中につき、生徒たちが午前中で下校していたので午後から保健体育科の教員を中心に、2学期から体育の授業の種目に取り入れるバトミントンの競技を教員同士で練習していた。その際、コートの後方でシャトルを打ち返そうとして、ジャンプしながら左足を1歩踏み出して着地した瞬間に、左足のアキレス腱が切れたようである。	24	50~ 99
7	17~18	工場内作で、天井クレーン操作で右手親指を頻繁に使用。徐々に痛みが増し、日常生活にも支障が出始める。工作中に、ゲージが持てなくなり休業する。拇指CM関節症と診断される。	41	1~9
7	10~11	応急救護指導員講習中に講習会場で、負傷者の移動の実習時に負傷者を背負う際に、自分の腰に強い負荷がかかり腰に強い痛みとともに電気のようなものが走り、その場で動けなくなった。しかし、資格取得のため、翌日の実技試験まで無理をし、悪化させてしまった。その後、整形外科で診察とレントゲン、MRI検査をし、医者診察の結果はMRIの画像から見て、強い負荷による第4、5腰椎の椎間板ヘルニアとの診断だった。	44	30~ 49
7	18~ 19	本館4階の柔道場で、柔道の乱取り稽古を高等学校柔道部の男子部員と行っていたとき、左足首が固定されている状態で倒れてしまい負傷した。	22	100 ~ 299
7	15~ 16	事業所から少し離れた公園内の鉄棒で、保育中の塾の子どもと遊んでいた際、逆上がりの着地時に、誤って右足を地面に強打し、右足親指を負傷した。	28	1~9
7	18~ 19	体育館で女子バスケットボール部の部活指導中、生徒と一緒にゲーム形式の練習を行っていたところ、相手を避けようとして方向転換したときに、軸足（右足膝）を負傷した。	36	50~ 99
7	12~ 13	当園内において、午睡へと園児の手をとり促していたとき、手をつないでいた園児がまだ遊ぶと言って手を離すか離さないかのときに、その園児が「先生抱っこ」と言って飛びついてきた。その際、園児の左足の脛辺りが右足の小指と薬指	45	10~ 29

		との間に挟まった形になり、反動で斜め後ろ向きに倒れた。		
9	17~ 18	発掘調査現場において、遺跡確認のためスコップで掘り下げて地表面を鋤簾（ジョレン）を使って削る（約1人当たり4㎡以上）作業をしていた。途中、違和感や痛みがあったが作業を続け、自宅に帰宅した後に腰に痛みが増してきた。	41	100 ~ 299
9	10~ 11	係員は以前より腰に持病があり、継続的な腰痛により通院加療・投薬されていた、そのことについては所員には周知されていた。しかし、業務割振により構内に設置されている大型テント（15人用）内の、撤収作業として脚立に乗り、2mの高さから内張りテントの取り外し、及び10枚1セット（約30kg）の毛布パレットの移動運搬に、約1時間以上に渡り従事した。その後、腰に激痛が走り、下半身にしびれを感じるようになった。時間が経つにつれ、しびれ・痛みが増し、静止時も座位では痛みには耐えられなくなった。	33	10~ 29
9	16~ 17	グラウンドにて児童と活動（追いかっこ）中、児童が急に走りだしたので同様に急に走り出したところ、右足筋肉が耐えられず肉離れを起こし激痛が走った。	56	10~ 29
9	9~ 10	7・8階において、勉強机（3個連結）と壁との間に捨てられたゴミ等の確認除去作業のため、この連結机（幅2.5メートル、重さ45キログラム、高さ1.2メートルほど）を少し持ち上げながら手前に引き出した際、腰と股関節部分に痛みが走った。	67	—
9	11~ 12	運動会において、卒園児の徒競走プログラムに参加、その際、コース上の最初のカーブ付近で右足甲あたりに激痛が走り、歩行困難となった。	62	10~ 29
10	16~ 17	校庭の築山のとっぺんで外遊びをしている時に、築山下で喧嘩をしている児童がいたため、止めに入ろうと咄嗟に下りたところ、ぬかるみで足を滑らせ、右足膝のあたりに身体が斜めのまま、全体重がかかってしまった。	55	1~9
10	10~ 11	お誕生日会の出し物をしている最中、急激に疾走した際、右足ふくらはぎに何か打たれたような強い痛みが生じた。受診の結果、肉離れを起こしていたと分かった。	50	10~ 29
	16~	保育後、園舎2階の大ホールにて園児用太鼓（10~13kg）を持ち上げた際、右手に		10~

10	17	違和感を感じ（しびれ等）、直後に受診したところ「頸椎椎間板ヘルニア」と診断された。	23	29
10	11～ 12	勤務する事業場の校舎の4階部分にて廊下を歩行中、背後から生徒に呼びかけられ返事をして振り返ろうとした時に、右膝を捻り、ケガをした。	21	1～9
11	20～ 21	ダンスレッスンの指導で、腰を捻ったり屈伸を伴う動きの入ったダンスを指導していた時、腰に激痛を感じたものの、当日はそのまま帰宅した。翌日は休日だったため安静にしていると良くなると思ったが痛みが治まらなかった。	30	10～ 29
11	18～ 19	保育園内リズム運動実技研修中、ホールを走り出して間もなくアキレス腱を断裂した。	53	10～ 29
11	21～ 22	7号館体育館において、課外活動（部活動、体育会排球部副顧問）中に学生への指導を行っていた。指導の中でデモンストレーションを行い動きの指導をしていたところ、体を反転させた際、右足アキレス腱を断裂した。	35	300 ～ 499
11	10～ 11	商品開発センター内1階作業場にて清涼飲料水の入った重量物の開梱・荷卸し作業中、狭い場所での作業だったため、近くで作業していた人とぶつかりそうになり、咄嗟に避けようとしてバランスを崩し約10kgの清涼飲料水の入った段ボールを持ったまま腰を捻ってしまい、腰を痛めた。	34	100 ～ 299
11	10～ 11	事業場内の室内テニスコートにて、会員へテニス指導をしている途中に、会員とテニスのダブルスを行った。被災者が前衛の位置から斜め前方に動いた際に、突然、右足のふくらはぎが痙攣し動けなくなった。	40	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)